

本土復帰50年に際し、市民・県民の生命を守る任務遂行に対する感謝決議

戦後 27 年の米国統治を経て沖縄県が本土復帰をして、本年は 50 年の節目を迎える。多くの離島を抱える島しょ県の沖縄は、これまで「島チャビ（離島苦）」に挑戦しながら振興発展の歩みを進めてきた。復帰とともに配備された自衛隊は、本来任務ではなかった緊急患者空輸を昭和 47 年、粟国島を皮切りに開始し、本市消防局や医療機関と連携しながら、本年 4 月 6 日に南大東島の緊急患者空輸をもって搬送数が総計 1 万件を超えるに至った。

その他にも災害派遣として市内外における不発弾処理や、行方不明漁船等の捜索など市民・県民の生命を守る活動を継続して行っている。

また、海上保安庁も同様に本土復帰以来、3 千百件余の離島患者空輸や漁船等からの救助をおこなっているほか、ドクターヘリも同様な任務を行い、この復帰 50 年には様々な行政機関や医療機関などの連携と協力があり市民・県民の生命と財産が守られてきた。

よって本議会は本土復帰 50 年に際し、関係機関並びに関係各位における市民・県民の生命を守る任務遂行に対して、深甚なる敬意と感謝の意を表するものである。以上、決議する。

令和 4 年（2022 年）4 月 25 日

那覇市議会

※決議にあて先はありません。

共産党って どんな党？

「安保も自衛隊もなくすの?」「天皇は? 共産主義とは?」「『暴力革命』って本当?」あなたの「?」にズバリ答えるリーフレットです。日本共産党はどんな党か知っていただくため、各地で **あなたの「?」におこたえします 日本共産党 綱領の話 「?」はてなリーフ**をみなさんにお届けしています。この機会にぜひお読みください。必要な方は、ご連絡ください。



自衛隊

海外の戦争で
血を流させない



若者を「殺し、殺される」戦場に送らない

自衛隊の問題で、いまいちばん大事なことは、なくすかどうか、ではありません。災害復旧などで汗を流す隊員たちを、安保法制を発動し、アメリカの戦争に派兵し、「殺し、殺される」戦場に送りこんでいいのか、にあります。私たちは絶対反対です。

国民が「なくても安心」となるまでは存続

共産党は、いますぐ自衛隊をなくそうなどと考えていません。将来、アジアが平和になり、国民の圧倒的な多数が「軍事力がなくても安心だ」と考えたときに、はじめて憲法9条の理想にむけてふみだそうと提案しています。

万が一、「急迫不正」の侵略をうけたら…

自衛隊もふくめて、あらゆる手段をもちいて命を守ります。国民の生存、基本的人権、国の主権と独立を守るのは、政治の当然の責務だからです。

「?」リーフでは

- ・ 安保条約
- ・ 安保法制
- ・ 平和なアジア
- ・ 自衛隊（左に紹介）
- ・ 天皇の制度
- ・ 共産主義
- ・ 中国
- ・ 改革の進め方
- ・ 野党共闘
- ・ 政権合意

について
わかりやすく
党の考え方を
紹介しています。
ご一読ください。

